

## (1) ②様式第1号—2 (計画書)

※A4判、2頁を超えない(両面印刷1枚)、縦方向、横書き、11ポイントで作成してください。

※「1案件概要」は機構ウェブサイト (<http://www.nits.go.jp/education/nitscafe/>) で公開します。

### 教職大学院と教育委員会の連携・協働支援事業 (NITS カフェ) (第3回申請)

#### 1 案件概要

- (1) セミナー名:【NITSカフェ in KUMAMOTO】  
「めざせ学校改革！ワクワクする学校について語ろう！」
- (2) 開催日時:平成31年3月2日(土)
- (3) 開催場所  
施設の名称:熊本大学教育学部5A教室  
住所:熊本市中央区黒髪2丁目40番1号
- (4) 参加予定人数と参加者の属性
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 熊本県・熊本市教育委員会       | 5名  |
| 一般教員・主幹教諭・教頭・校長    | 60名 |
| 熊本大学教職大学院教授、准教授、院生 | 20名 |
- (5) 登壇者(講演者、発表者、パネラー、ファシリテーター等)
- |                |       |
|----------------|-------|
| 東京都千代田区立麹町中学校長 | 工藤 勇一 |
| 熊本大学教育学部准教授    | 苫野 一徳 |
| 熊本大学教育学部准教授    | 前田 康裕 |
- (6) テーマ:  
「時代の変化に対応した学校改革を推進するためのプランの創造」
- (7) テーマの詳細などの企画概要
- ① 工藤勇一校長による講演  
テーマ:学校の「当たり前」をやめた。～生徒も教師も変わる！学校改革～
  - ② 参加者同士によるグループディスカッション、意見発表  
テーマ:考えよう！自分たちの学校改革  
※ 講演の内容を元にして、自分たちの学校を改革するためのプランをグループごとに考える。
  - ③ 工藤勇一校長、苫野一徳准教授、前田康裕准教授によるパネルディスカッション  
テーマ:話し合おう！これからの学校の未来  
※ ②で出されたプランをもとにして、あるべき学校の未来の姿を話し合う
- 【期待される効果】  
工藤勇一校長は「定期テストの廃止」「全員担任制の導入」といった大胆な学校改革を行い成果を上げている。そこには、前年度踏襲の「当たり前」を見直して改善していくとする高い経営理念がある。そこで、参加者はまず工藤校長の改革の具体的な姿を知り、その経営理念を学ぶ。そして、講演を単に聞くだけでなく、自分たちの学校改革のプランを考え、発表し共有することによって実現に向けた意識を高める。さらに、その発表されたプランを元にして工藤校長と教育哲学を専門とする苫野一徳准教授が話し合い、「これからの学校のあるべき姿」について参加者と一緒に考える。前田康裕准教授は、実務家教員として会場とパネリストの間に入り、コーディネーターとしての役割を果たす。  
こうした流れをとることによって、受け身で終わる講演会ではなく、参加者自らが、未来の社会をイメージしながら社会に開かれた学校を実際に推進するための意識の高揚と実践化が期待できる。
- (8) 進行プログラムの概要
- 1 開会 (NITSカフェの開催にあたって)
  - 2 講演
  - 3 グループディスカッション
  - 4 パネルディスカッション
  - 5 閉会

### 3 参加者の募集方法

※参加者の募集方法を具体的に記載してください。

熊本県下の各市町村教育事務所を通して、案内チラシをすべての小中学校に配布する。  
メールまたはイベント用 Web サイトで申し込みを受け付ける。